

予算・決算の年度推移表

【資料1】

当初予算額の推移

センターと科学館は、一体施設として予算編成

(単位:千円)

区分	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
情報ネットワークセンター費(科学館を含む)	290,693	259,498	240,380	216,607	171,689	158,454	145,311	139,437
人件費(の内数)	112,242	107,336	104,851	99,464	68,299	60,907	54,027	52,309
人件費以外の歳出(-)	178,451	152,162	135,529	117,143	103,390	97,547	91,284	87,128
センター関連の歳入(注1)	3,462	3,217	3,437	3,425	2,752	1,684	1,288	1,111
科学館関連の歳入(注2)	90,000	30,560	22,600	10,500	10,600	10,325	8,485	8,640
歳出-歳入(-(+))	197,231	225,721	214,343	202,682	158,337	146,445	135,538	129,686

科学館入場料収入 90,000,000円 (@600円 × 15万人)
科学館入場者数 15万人

開館当初は、運営経費を約2億で考えていた。

決算額の推移

(単位:千円)

区分	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度(見込)
情報ネットワークセンター費(科学館を含む)	266,957	234,613	228,313	209,717	155,954	149,738	145,462	130,841
人件費(の内数)	108,848	103,831	100,324	96,506	58,917	57,721	50,398	53,240
人件費以外の歳出(-)	158,109	130,782	127,989	113,211	97,037	92,017	95,064	77,601
センター関連の歳入(注1)	3,450	2,363	1,956	2,175	1,720	1,452	1,044	917
科学館関連の歳入(注2)	15,260	12,705	10,551	10,126	7,832	8,541	8,130	6,877
歳出-歳入(-(+))	248,247	219,545	215,806	197,416	146,402	139,745	136,288	123,047

明細については、別紙参照

夜の科学館閉館による削減

人件費を9人から5人
地域情報化推進費へ移動

人件費を5人から4人

議決前の見込み

科学館入場料収入 14,923,200円 (対予算 17%)
その他の収入
・市民利用証作成料金 283,700円
・展示案内売払代金 53,300円

科学館入場者数 41,297人 (対予算 28%)
うち有料入場者 26,352人
無料入場者 6,003人
市民利用証入場者 8,942人

運営経費を2億達成
H15.10
夜の科学館閉館

機器更新(H16~H18の3年間で実施)を期にダウンサイジングによるスリム化を図る。
(運営経費1.5億達成)

予算額に比べ約5000万円の超過。
歳出は、約2,300万円の減
科学館入場料収入は、約7,500万円の減
歳出を中心としたスリム化
科学館 市民には無料施設
パソコン無料体験コーナー 全員無料
歳出()と歳入(+)を比較すると
歳出は歳入の14.3倍

	センター分	科学館分
情報ネットワークセンター費	70,333(53.8%)	60,508(46.2%)
人件費	22,391(42.1%)	30,849(57.9%)
人件費以外の歳出	47,942(61.8%)	29,659(38.2%)
~ 歳入	917(11.8%)	6,877(88.2%)
歳出-歳入	69,416(56.4%)	53,631(43.6%)

スリム化の内訳
平成12年度 2億4,800万円
平成19年度 1億2,300万円
差額(削減額) 1億2,500万円

(減額要因)
・夜の科学館の閉館による効果 約500万円
・電気料金の削減 約750万円
・マリンスタッフの配置見直し 約400万円
・人件費の充当科目を修正 約5,150万円
・通信運搬費の削減 約550万円
・ランニングコストの削減等 約7,850万円
合計 約1億5,200万円
…(A)

(増額要因)
・更新に伴う賃借料の発生 約1,700万円
・歳入の減 約1,000万円
合計 約2,700万円
…(B)

(A) - (B) = 1億2,500万円

注1: 情報研修室、メディアホール、ロビー等の使用料及び情報工房素材費などの雑収入

注2: 科学館入場料、市民利用証作成料金、展示案内売払代金収入